

貨幣博物館を見学

金融論ゼミナール（担当教員：内田聡）では、12月下旬に東京にあります、日本銀行金融研究所の貨幣博物館を見学に行きました。

<https://www.imes.boj.or.jp/cm/>

普段から金融のさまざまな側面を学習し、さらにはそれを起点に社会システムの変化へも関心を広げています。コロナ禍においても、インターネットなどを活用し、オフラインやオンラインにおける金融の仕組みに触れるなどの工夫をしていますが、一方で現物に触れることも重要になります。今回の訪問では教室で学んだ貨幣の歴史を踏まえて、現物のさまざまな貨幣にふれることで理解が深まりました（たとえば「鏝銭」や国立銀行紙幣など）。これは現在進んでいる暗号資産やトークンを理解するうえでも役立ちます。

今回の見学を機に学生の学習意欲が向上したものと思います。こうした機会をえられたのは、後援会のご支援があつてはならであり、この場を借りてお礼を申し上げます。

